



のはな菖蒲

発行 愛知県立豊橋南高等学校 P T A TEL(0532)25-1476 FAX(0532)25-4887
<http://www.toyohashiminami-h.aichi-c.ed.jp/>



陸上部 U20 日本陸上競技選手権大会



夏季クラスマッチ(ソフトバレー)



夏季クラスマッチ(神経衰弱 & 百人一首)



「豊橋南高校写真展 第2弾 ~本のある風景~」

5月19日(水)～6月22日(火)

中央図書館 情報発信コーナー

7月7日(水)～8月26日(木)

大清水図書館 ティーンズルーム

「写真甲子園2018」本戦入賞(全国4位)、「写真甲子園2019」東海ブロック審査会(東海大会進出)の作品も併せて展示



夏季クラスマッチ(ドッヂビー)

夏休み・2学期の学校行事予定

全校出校日

8月5日

530運動

10月22日

始業式

9月1日

修学旅行

10月27日～29日

課題テスト

9月1日～3日

期末考査

11月25日～12月1日

南高祭

9月15日～17日

保護者会

12月17日～22日

中間考査

10月5日～8日

終業式

12月23日

「これから大切なこと」

PTA会長 郡山 玲



日頃はPTA活動にご理解とご協力を頂き、誠にありがとうございます。昨年度同様、PTA総会が書面での決議となり、従来の新年度のスタートが出来ないこと、また会員の皆様に直接ご挨拶が出来なかったことに対し、誌面をお借りしお詫びいたします。

さて、新型コロナウィルスの感染状況は、ワクチン接種が始まつたとはいえ、収束へはまだ程遠い状況の中、学校及び家庭とそれぞれ相互に協力、工夫をしながら学業と部活や学校行事を行って参りました。しかしながら行事においては感染対策の観点から制限せざるを得ないこともあります。今年度のPTA活動についても皆様にはご迷惑をお掛けすることもあるかと思います。学校、保護者の皆様、生徒の意見等も伺いながら次に繋がる活動を模索して行きたいと考えております。ご協力お願いいたします。

先日、ある学校においてクラスターが発生した時の生徒に対する心ない言葉や差別があったとの記事を目にし、心が痛みました。このような中、ダイバーシティ＆インクルージョンが大切となっており、企業でも取り組み始めています。人種、性別、宗教や価値観など、相互に理解をし、受け入れ助け合う。そんな気持ちを持つ大人が社会で活躍していくと考えております。南高生も学校生活や国際交流等で気づきから学ぶことを期待しております。

本年度も引き続き学校と連携をとりながら、活動を進めて参ります。どうぞよろしくお願ひいたします。

PTA活動報告

総務主任 大林省司

1 PTA総会

5月6日に予定していたPTA総会については、新型コロナウィルス感染症拡大の心配から、書面による総会とし、下記の議案が承認されました。

役職名	氏名	生徒学年
会長	郡山 玲	3年
副会長	小林 紀喜	3年
	光松 健太郎	2年
	松下 智	1年
	山脇 正成	校長
書記	芳賀 麻子	3年
	有賀 洋之	教頭
会計	田野尻加世	2年
	大塚 政典	事務長
監事	井口 直人	2年
	村田 利夫	1年

第1号議案 令和2年度事業報告

第2号議案 令和2年度PTA会計・PTA空調費会計収支決算報告・監査報告

第3号議案 令和3年度役員・理事選出

*役員として下記の方々が選出されました（敬称略）

第4号議案 令和3年度事業計画

第5号議案 令和3年度PTA会計・PTA空調費会計収支予算

1年新理事

石原敦子 大羽美保子 小野弘幸 仲原冴子 去来川綾
桂あゆみ 坂口絵美 影目栄子 高島弥佳 牧平久美子
水鳥みづき 小林康子 柴崎史子 山田寛子 前田満美
三浦美穂 朝倉郁恵 鈴木 愛 園部 誠 高橋嘉子
牧嶋なをみ 神藤由香 鈴木博宗 夏目純子 松嶋雅子

2・3年の理事は一部の方を除き再任されました。

持続可能な地域社会の実現にむけて

教頭 森田恭弘



保護者の皆様には、日頃より教育活動に多大なる御協力と御支援をいただき、誠にありがとうございます。さて現在、政府や自治体、企業単位で、SDGs（国連が採択した2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標）の達成に向けた取組が進められています。2019年に豊橋市は、「SDGs未来都市」に選定され、また、豊橋市立の全小中学校・特別支援学校は以前より、「ユネスコスクール」としてESD（持続可能な開発のための教育）活動を行っています。

そのような中、本校でも、普通コースの総合的な探究の時間におけるSDGsをテーマとした探究活動、教育コースや生活デザイン科、ボランティアグループ「のはな」を中心とした地域の方々との交流活動に取り組みながら、ユネスコスクールとしての正式な認可を待っているところです。そしてさらに、この4月にユネスコ委員会が立ち上がり、生徒たちがESD活動に参加するチャンスも増えました。本校は、地域と連携し、ESDのハブとなって活動に取り組むとともに「開かれた学校づくり」を進めてまいります。持続可能な地域社会の実現を念頭に、皆様の支援をいただきながら共に努力していく所存です。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

PTA活動報告

総務主任 大林省司

2 専門委員会

教育情報委員会



委員長 笹谷 浩美（3年）
副委員長 夏目久美子（2年）
仲原 冴子（1年）
学校代表 大林省司

環境保健委員会



委員長 片山 恵子（3年）
副委員長 有賀 君江（2年）
小野 弘幸（1年）
学校代表 笹瀬 貴司
(保健厚生)

生徒指導委員会



委員長 太田 和也（3年）
副委員長 藤村 典孝（2年）
鈴木 博宗（1年）
学校代表 渡會 啓太
(生徒指導)

研修委員会



委員長 鈴木 茂明（3年）
副委員長 藤井 晃子（2年）
園部 誠（1年）
学校代表 鈴木 唯史
(進路指導)

同窓会からの寄贈品

同窓会担当教員 丸山 敬彦

本校では、卒業後25年経った年（年齢で43歳）に母校へ記念品を贈るという習慣があります。今年度も本校の24回生（平成9年3月卒業）から、「全天候型屋外スピーカーとパワードミキサーを含む音響機材一式」が寄贈されました。

今までにも屋外で使用する音響機材はありました
が、グランドで使う際、整列している後ろの生徒には音が届きにくいという弱点がありました。今回寄贈していただいた音響機材は、その弱点を補うために全天候型スピーカーにスタンドがついており、スピーカーの位置を高くすることによって遠くまで音を届けることができます。

体育大会やクラスマッチなどの屋外の行事で、従来の音響機材と一緒に使うことにより、大会本部だけでなく招集場所などからも、今まで以上に鮮明な音を生徒に届けられるようになりました。また、USBメモリーをはじめ様々な媒体から再生可能になっています。

学校行事に役立つ寄贈をしていただき、ありがとうございました。
さまざまな行事で大切に使わせていただきます。



普通科進路講演会

進路指導部 鈴木 唯史

講師に富山大学教授船橋伸一先生を迎えて、普通科進路講話を5月10日に行いました。船橋先生は大学の授業の傍ら、日々精力的に講演を行っておられます。また、「夢をかなえる大学選び」に続き昨年度、これから時代の学びについて解説した「さよなら『正解主義』」を共著にて上梓されています。

講話では私大の入試定員厳格化や少子化など、年々変化する大学入試を取り巻く状況や、出身大学及び受験方法と就職との関係について、先生独自のデータを交えて丁寧に説明いただきました。

また、大学の選び方については、自分の興味や将来を見据えるとともに、より高い目標を持って努力を続けるようにとのアドバイスをいただきました。

生徒からは「前向きに努力することの意味が分かった」「全教科しっかり学習したい」「もっと大学について調べたい」などの声が聞かれ、受験に向け大きな刺激を受けるとともに、心のこもったエールをいただいた講話となりました。

530運動を通して

2-5 川井 桢

私は、郊外で行う530運動を初めて行いました。今まで私が経験した530運動は校内だけだったため、綺麗になったところが目で見てよく分かりました。しかし、今回は範囲が明確でなかったので、はじめは綺麗になった実感が湧くか不安でした。しかし、実際に530運動をしてみると、いつも自分の通学路に落ちていたゴミが運ばれてきて、綺麗になっているという実感が湧きました。また、自分ひとりで拾ったゴミの数はあまり多くなかったけれど、最後に集めたごみの数はとても多く、みんなで協力して行うこと、自分の町がより早く綺麗になることが分かりました。今回の530運動を通して、人数が多くなるほど、より効率よく綺麗になることが分かったので、これからは全校で行う530運動などを実施するなどして私たちの町を更に綺麗にしていきたいと思いました。また、私たちが今回経験したように、町が綺麗になることをたくさん的人に実感してもらいたいと思いました。そして、今回の530運動で綺麗にした町を維持できるよう、日頃から自分にできる美化活動をしていきたいと思います。

熱中症予防講習会

生徒保健委員長 2-5 杉浦 真奈美

5月20日（木）に本校学校薬剤師の杉山純子先生を講師に部活動代表者約50名が熱中症予防講習会に参加しました。熱中症は日頃よく聞く言葉ですが、改めてこまめに水分補給することや塩分、糖分を取ると良い事、鼠径部を冷やすと良い事など予防が大切だと感じました。また、なってしまった場合は速やかな対応を心がける事など自分でなく周りの人たちに気を配って生活することも大事だと再確認しました。そして、これからどんどん暑くなっていくので今日の講座で学んだことを生かし健康第一の生活で元気に過ごしたいです。



スマホ安全教室

生徒部 渡會 啓太

4月14日水曜日に1年生を対象に「スマホ・ケータイ安全教室」を実施しました。

講師の方からは、スマホ・ケータイに関する安心・安全な使い方だけではなく、現在、問題となっているSNS等で起きるトラブルについても具体例を挙げながら、わかりやすく説明していただきました。また、実際に起きたトラブルを再現した映像もあり、それを見た生徒の反響は大きく、「自分もこのようなトラブルに巻き込まれないように気を付けたい」という感想が多数ありました。今回の教室で学んだことをいかして、スマホ・ケータイの使い方について改めて考えていきたいと思います。

令和3年度 夏季クラスマッチ

総合成績	種目	優勝
優勝	ミニサッカー男子	3-3
3-3 & 2-2	ミニサッカー女子	3-6
第2位	ドッヂビー男子	1-7
3-6	ドッヂビー女子	1-5
第3位	ソフトバレー男子	2-2
2-5	ソフトバレー女子	2-5
	ソーラーパネル	2-5
	神経衰弱 & 百人一首	1-2

2-3 伊藤 空

6月8日（火）に、令和3年度夏季クラスマッチが行われました。昨年に引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底しつつも、当日は晴天に恵まれ、各々の種目でチームメイトが一致団結し他のチームに挑む熱い姿が見られました。中でも女子ソフトバレーでは、ミスをした際に励ましたり、良いサーブが入ったときには褒め合うといったチームが多く見られました。このような助け合いや認め合いの和が南高校中に広がりを見せ、とても良い雰囲気でクラスマッチを終えることができました。今回のクラスマッチを通して、クラスメイトの普段とは違う真剣に試合をする格好いい姿や、変局でもあきらめない精神力の強さを見れる1日となりました。



<教育コースの活動>

2年目の小学校あいさつ運動

2-5 關澤志龍

私たち教育コース2年生は、4月28日、30日、5月6日、7日に近隣の4小学校であいさつ運動を行いました。1年生の時と同じ小学校で実施しました。始業前の短い時間ですが、実際に児童の様子や先生方の動きを見て、多くのことに気づかされました。初めは硬い表情でも徐々に挨拶を返してくれる子が増えてきます。その中で、返してくれないのはどういう原因があるのか、どうしたら返してくれるのかを考えて実践することができました。



私は野依小学校に行きました。その日、いつもは早く登校する班が特別遅くなっていました。すると、校門にいた先生がすぐに優しく話を聞き、原因を考え、これからの対策についてもお話をされました。また、教頭先生は毎日児童が登校する前に校外に歩いて出かけられていきました。学校から離れた場所での見守りをされているのだと思います。そのような先生方の姿から、どういうことに配慮しているのかを考え、学ぶことができました。

私たちと特別支援

2-5 高祖香蓮

私たち教育コース2年生は、5月31日にくすのき特別支援学校の小田和弘先生から、特別支援教育についての講義を受けました。知識が不十分だった私は、特別支援教育が障がいのある子ども一人一人の持てる力を高めながら困難を改善・克服していくものだと知り、健常児と接する時と変わらないのではないかと感じました。コミュニケーション英語Ⅱの授業で車椅子テニスの選手に関する文章を読んだ時、その中に「障がいのある子どもがスポーツ選手になりたいと夢見るのは、健常な子どもが夢見るのと同じである。」という文があったことを思い出しました。

障がいにはさまざまなものがあり、一見健常者と変わらないようでも障がいのある人がいます。また、障がいがあると、何もかも手助けしたいと思ってしまいますが、その人ができることは見守ることが大事だと思いました。

この講義で学んだことを忘れずに、特別支援学校訪問に繋げていきたいと思います。

家庭クラブ総会

3-1 正木美帆

5月12日に、家庭クラブ総会を行いました。内容は、昨年度の行事・会計報告、今年度の行事計画や役員任命式などです。昨年度は、新型コロナウィルス感染防止のため、いろいろな行事が中止になりました。そのため、福祉施設の入居者の方へのマスク作りや、お弁当の日など、個々で活動することが中心となっていましたが、今年は、生活デザイン科の生徒、1年から3年までが揃って総会を開くことができ、いいスタートをきることができました。

本年度と来年度は、本校が愛知県家庭クラブ連盟の会長校となりました。そのため、本校で県連の総会や研究発表会を行う予定です。多くの人が集まるので、感染予防に気をつけながら、学校の活動も県連の活動も活気あるれるような一年にしていきたいです。



AI社会になる世の中で、これからの教育に大切なこと

1-5 笹野ほのか

先日、愛知教育大学の先生が来校され、教育とは何か、これからの教育で大切なことについて、教えていただきました。

AI社会になるこれからの世の中では、個人の意思がある人が必要とされていき、それに伴い授業も先生が教えるだけのものから、生徒主体の授業に変わっていくそうです。そのため、これからの教育では、人間らしい、想像力のある、感受性に富んだ、自分自身で教育できる子どもの育成が必要だと教わりました。

生徒主体の学習法の一つとして、自己統制学習というものを知りました。自分で問題を探し、情報収集をし、問題解決をし、そして、どこまで解決したか自己評価をする学習法です。大学ではこの学習法が取り入れられている講義もあると聞き、驚きました。このような勉強法一つだけでも、教育で必要になっていることが日々変化していることを感じました。



私はこの出前授業で教わったことを意識して、自律的に行動したり、自分の意思をしっかり持って生活していきたいと思います。

専門科高校訪問

3-5 近藤太河

私たちは、4月26日に教育コースの活動として専門科高校を訪問し、校内見学や体験授業をしました。豊橋工科高校、豊橋商業高校、三谷水産高校に分かれ、私は三谷水産高校を訪問しました。

三谷水産高校では、船や海についての専門的な授業はもちろん、普通科と同じ物理でも、内容は電波の受信速度や仕組みなど海洋漁業で必要な知識に特化した授業を行っていました。また、モールス信号の解読や実際に船に乗って活動するといった実技的なことも行っていました。三谷水産高校の生徒たちは、自分たちで魚を養殖し、研究をしています。専門的な授業や活動、加えて魚の管理や部活動と多忙な学校生活を送る生徒が私たちと同年代であることが一番の驚きでした。

今回の活動は「視野を広げる」にはとても良い機会になりました。専門科高校の生徒、教員、活動を見学して、自分の知らなかった世界を知り、視野を広げることができました。知らない世界を知るということは、物事を違う視点から見ることにつながり、新しい考え方を持つことにもつながります。視野を広くする大切さを感じ、この学びを活かして生活をしたいと思いました。



生徒会より

3-5 松下文太

みなさん、こんにちは。学校生活は楽しいですか？生徒会執行部では、みなさんの学校生活がより充実できるように、様々な活動をしています。昨年に引き続き、生徒全体をモットーに議会及び委員会の活性化に取り組んでいます。議員や各委員に負担をかけることになりますが、ご協力をお願いします。また、委員会がキャンペーン等の活動を行う際は積極的にご参加よろしくお願いします。

また、南高祭に向けて様々なお願いや、実行委員・全校企画といったみなさんの協力なしでは、行うことができないことが出てきます。みんなの力で最高の行事を作りたいです。難しいお願いもあると思いますが、ご協力の程よろしくお願いします。

最後に、昨年から新型コロナウィルス感染症の猛威によって、様々なところで行事の規模が縮小したり、中止となっています。厳しい状況下で行事を行うことができるるのは、先生をはじめとした学校関係者のおかげなので、行えることに感謝をして、最高のモノにしましょう。

陸上競技部

第37回U20日本陸上競技選手権大会 & 全国高校総体陸上競技大会 出場決定!!

6月18日（金）から三重交通Gスポーツの杜伊勢（三重）で行われた東海高校総体に陸上競技部男子6名、女子10名が出場しました。3日間の熱い戦いの結果、3年4組小川大輝くんが男子400mハードルで第5位、2年4組田中瑛一くんが男子走り幅跳びで第2位に入賞し、見事インターハイの切符を勝ち取りました。

また、インターハイを決めた2名は、6月23日（木）からヤンマースタジアム長居（大阪）で行われた第37回U20日本陸上競技選手権大会にも出場をしました。この大会は20歳以下の日本一を決める全国大会として全国の選抜者のみで競技が行われ、今年度についてはナイロビ2021 U20世界陸上競技選手権大会の代表選考会も兼ねている大会です。さらに第105回日本陸上競技選手権大会と同時開催ということで、東京オリンピックの代表をかけた戦いの最中に行われる特別な大会でした。7月下旬から福井県で行われる全国高校総体に向けて、この経験をいかし、さらに調子を上げていってくれると思います。全国の舞台での更なる活躍を期待しています。

（東海総体・U20日本選手権の結果は部活動結果ページをご覧ください）



部活動結果

第75回愛知県高等学校総合体育大会 東三河支部予選会

■ハンドボール

・男子

1回戦 本校 23-17 豊橋西
2回戦 本校 11-28 国府

・女子

2回戦 本校 15-17 豊丘

■バレーボール

・男子

1回戦 本校 0-2 時習館

・女子

1回戦 本校 2-0 豊橋工業
2回戦 本校 0-2 桜丘

■サッカー

1回戦 本校 5-1 豊橋商業
2回戦 本校 0-6 御津

■陸上競技

・男子

200m 清田虎太朗 4位
400m 小川 大輝 優勝
清田虎太朗 7位
110mH 大谷 高史 優勝
400mH 小川 大輝 優勝
大谷 高史 8位
4x100mR 田中・清田・
大谷・小川 4位
4x400mR 田中・清田・
大谷・小川 2位
走幅跳 田中 瑛一 優勝
三段跳 田中 瑛一 優勝
ハンマー投 中野 陽登 優勝
やり投 中野 陽登 5位

男子総合 3位
トラック 4位
フィールド 3位

※6位以内は県大会出場

(400m7位も出場)

・女子

100m 富田 遥加 優勝
嶋 結菜 2位
200m 鈴木 摂稀 3位
嶋 結菜 5位
400m 相場 茉奈 3位
伊藤 麻帆 4位
800m 土方 涼菜 5位
相場 茉奈 優勝
菅沼 梨瑚 3位
長瀬 まみ 6位
1500m 中川 紗弥 2位
3000m 中川 紗弥 3位
400mH 佐野萌々春 5位
4x100mR 伊藤・富田・鈴木・嶋 優勝

4x400mR 伊藤・富田・土方・相場
2位

走高跳 横内 愛実 4位

走幅跳 富田 遥加 優勝

高橋 知伽 2位

三段跳 高橋 知伽 4位

女子総合 2位

トラック 1位

フィールド 3位

※6位以内は県大会出場

■バスケットボール

・男子

2回戦 本校 53-47 小坂井
準々決勝 本校 43-161 豊川
本校 74-99 時習館

・女子

1回戦 本校 34-48 豊橋東

■卓球

・男子

学校対抗
1回戦 豊橋南3-1豊橋工科
2回戦 豊橋南0-3桜丘

ダブルス

3回戦敗退 太田達也・田中虎太郎組
2回戦敗退 牧野陽歩・黒田健太組
近藤太河・山本浩平組

シングルス

2回戦敗退 近藤太河・太田達也
田中虎太郎・牧野陽歩
宮瀬拓真・鈴木真琴
小林一樹・清水皓志

・女子

学校対抗
2回戦 豊橋南3-1豊丘
3回戦 豊橋南1-3豊橋商業
5位決定戦トーナメント1回戦
豊橋南2-3渥美農業

ダブルス

8位 村田ひかり・佐藤みう組
(県大会出場)

シングルス

4回戦敗退 村田ひかり
3回戦敗退 佐藤みう

■テニス

・男子

団体
2回戦 本校 2-1 豊橋工科
準決勝 本校 1-2 時習館
3位決定戦 本校 2-0 豊丘
団体3位県大会出場

個人

シングルス
プロックベスト4
西山 聖愛
井上 蒼太

ダブルス

プロック準優勝

尾川 太一・吉田 健人
(県大会補欠)

プロックベスト4

西山 聖愛・井上 蒼太
河合 飛佳・皿井 秀汰

・女子

団体

1回戦 本校1-2豊橋東

個人

シングルス

プロック優勝

樋口杏里 県大会出場

プロックベスト4

山口 桜

ダブルス

プロックベスト4

山口 桜・平田ゆめの

■バドミントン

・男子団体

1回戦 本校 3-1 西尾
2回戦 本校 2-3 成章

男子ダブルス

松下 喜洋・堤 慎吾
ベスト16 (県大会出場)

・女子団体

1回戦 本校 3-0 岩津
2回戦 本校 3-1 猿投農林
3回戦 本校 0-3 岡崎城西
(ベスト8)

女子ダブルス

田中麻央・牧野桜矢組
ベスト16 (県大会出場)

女子シングルス

牧野桜矢
ベスト16 (県大会出場)

■弓道

・男子個人 4位 成田健吾
男子個人県大会出場決定

・女子

兒玉寧空 鈴木沙采 宮原美憂
女子個人県大会出場決定

■剣道

・男子団体

本校 1-3 海陽学園
本校 2 (2)-2 (4) 豊橋中央
本校 0-4 豊橋東
予選リーグ敗退

個人

伊藤 晃季 3勝 (ベスト16)
永里 裕太 1勝
高井 遥太 初戦敗退
植村 洋平 初戦敗退

・女子団体

本校 0-2 藤ノ花
本校 0-5 桜丘
本校 3-1 豊丘
予選リーグ敗退

個人

二村 音寧 1勝
鈴木 花音 初戦敗退
佐藤 あい 初戦敗退

■水泳

- ・男子個人
50m 自由形 山下流空 (県大会出場)
100m 自由形 山下流空 (県大会出場)
- ・女子個人
50m 自由形 杉浦心優 (県大会出場)
100m 背泳ぎ 杉浦心優 (県大会出場)
100m 平泳ぎ 山田和葉 (県大会出場)
200m 平泳ぎ 山田和葉 (県大会出場)
- ・リレー
4×100mR
山田・杉浦・堀口・野沢 (県大会出場)

第 75 回愛知県高等学校総合体育大会

■陸上競技

- ・男子
400m 小川 大輝 優勝
清田虎太朗 6位
 - 110mH 大谷 高史 8位
 - 400mH 小川 大輝 優勝
 - 4×400mR
田中・清田・大谷・小川 5位
 - 走幅跳 田中 瑛一 2位
 - 三段跳 田中 �瑛一 3位
- ※決勝進出者のみ記載
6位以内が東海大会出場
- 男子総合 5位
トラック 3位
- ・女子
100m 富田 遥加 5位
嶋 結菜 7位
 - 800m 相場 茉奈 5位
 - 4×100mR
伊藤・富田・鈴木・嶋 6位
 - 4×400mR
伊藤・富田・相場・鈴木 6位
 - 走幅跳 富田 遥加 2位
- ※決勝進出者のみ記載
6位以内が東海大会出場

■テニス

- ・男子団体
1回戦 本校2-1岡崎西
2回戦 本校0-3名古屋
- ・女子シングルス
1回戦 橋口杏里 0-8 中京大春日丘

■バドミントン

- ・男子ダブルス
松下喜洋・堤 慎吾組 2回戦敗退
- ・女子ダブルス
田中麻央・牧野桜矢組 1回戦敗退
- ・女子シングルス
牧野桜矢 1回戦敗退

■弓道

- ・男子
成田健吾 2日目進出できず
- ・女子
兒玉寧空 鈴木沙采 宮原美憂
2日目進出できず

■卓球

- ・女子ダブルス
村田ひかり・佐藤みう組 1回戦敗退
- 水泳
- ・男子個人
50m 自由形 山下流空
100m 自由形 山下流空
以上 予選敗退
 - ・女子個人
50m 自由形 杉浦心優
100m 背泳ぎ 杉浦心優
100m 平泳ぎ 山田和葉
200m 平泳ぎ 山田和葉
- リレー種目
4×100mR
山田・杉浦・堀口・野沢
以上 予選敗退

第 68 回東海高等学校総合体育大会

■陸上競技

- ・男子
400m 小川 大輝 決勝7位
清田虎太朗 準決6位
- 400mH 小川 大輝 決勝5位
- 4×400mR
田中・清田・大谷・小川 予選5位
- 走幅跳 田中 瑛一 決勝2位
(大会新記録)
- 三段跳 田中 瑇一 決勝 17位
6位以上が全国大会出場

・女子

- 100m 富田 遥加 準決6位
- 800m 相場 茉奈 準決5位
- 4×100mR
伊藤・富田・鈴木・嶋 準決6位
- 4×400mR
伊藤・富田・鈴木・嶋 決勝7位

運動部その他の大会

■陸上競技

第 44 回豊橋リレーカーニバル大会

- ・男子
4×100mR
田中・清田・大谷・小川 4位
 - 4×400mR
田中・清田・大谷・小川 3位
 - ・女子
4×100mR
土方・富田・鈴木・嶋 優勝
 - 4×400mR
伊藤・相場・土方・鈴木 優勝
- 第 76 回国民体育大会
選手選考春季選抜競技会
- ・男子
A300m 小川 大輝 3位
 - ※決勝進出者のみ記載
 - ・女子
B100m 嶋 結菜 3位
 - ※決勝進出者のみ記載

■卓球

- 国民体育大会少年の部
卓球競技東三河支部予選会
- ・男子
9位 宮瀬 拓真
(県大会出場)
 - 4回戦敗退 河村 亮磨
 - 3回戦敗退 中西 智輝
 - ・女子
4回戦敗退 阿部 彩花
 - 久米 礼夏
 - 笠野ほのか

運動部その他の全国大会

U20日本陸上競技選手権大会

- ・男子
400MH 小川 大輝 予選 3位
- 走幅跳 田中 瑇一 決勝 10位

がんばってます! 部活動紹介

弓道部

部長 2-1 馬 替 理 子

私たち弓道部は2年生18人、1年生12人の合計30人で活動しています。3年生が弓退し少し寂しさを感じる中、心機一転して練習に励んでいます。

1年生は自由練習にも積極的に取り組み、頑張る姿勢が2年生に良い刺激を与えています。また、2年生は基礎を1年生に教える中でコミュニケーションをとるようにしています。このように弓道部では学年を超えた縦の繋がりを大切にしています。

昨年より新型コロナウイルスの影響で大会が次々と中止になり、活躍の機会が失われています。数少ないチャンスを掴むためにも日々の練習により力を入れていきたいです。

応援委員会(応援団)

団長 3-6 田 中 麻 央

私たち応援団は、現在3年生3人、1年生2人の合計5人で活動しています。毎週火・水・木の昼放課に、OBで顧問の丸山先生、OB会の中根さんや松山さんのご指導の下、青春の杜で練習をしています。昨年から、コロナウイルスの影響で様々な校内外での活動が中止となり、今年はそれに加え深刻な人数不足によって、団全体に活気がなくなり士気も低下しました。ですが、徐々に校内で演奏をさせてもらえる機会も増えて、その度によい反響があるので少しずつやりがいを感じられています。

最近では、新入団員を集めため、どのように応援団の魅力を伝えていくかという話し合いを進めつつ、1年生たちの育成に勤しんでいます。私の思う応援団の魅力は、ひたむきな気風や厳かな姿勢、そして何よりその歴史の深さです。私たちの学ランの胸ポケットには、平成27年の応援団復活後からOB会より贈られているバッジがついています。裏には初代顧問直筆の激励の言葉がそのまま刻まれており、そこには歴代OB・OGの先輩方の思いが詰まっています。そんな伝統のある豊橋南高校応援団の名に恥じないよう、これからも厳肅さ、昂然たる態度を忘れず、日々の活動に励んでいきたいです。

今後、もっと多くの人にこの思いが届くよう、今日も私たちは皆さんにエールを送ります。フレー、フレー、南!

